

## 第2回家庭部門会議の概要

### 1. テーマ 家庭における省エネの促進方策

### 2. 目的

- ・近年の家庭1世帯当たりのエネルギー消費量は、家庭用機器のエネルギー消費効率の大幅な向上により、伸び率自体は鈍化しているものの、機器の大型化・多様化等により石油危機以降増加傾向となっている。
- ・このため、各主体から省エネの取組みについて紹介をいただきながら、家庭での省エネ促進方策を検討する。

### 3. 会議の開催

(1) 日時：平成27年10月8日（水） 午前9時30分～11時

(2) 場所：ドームシティガスビル 会議室

(3) 出席者：

【消費者団体、環境 NPO】 なにわの消費者団体連絡会、全大阪消費者団体連絡会、公益社団法人全国消費生活相談員協会、公益社団法人日本消費生活アドバイザーコンサルタント協会西日本支部、NPO法人住宅長期保証支援センター、NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議、NPO法人摂津市人材サポート・ビューロー

【エネルギー供給事業者】 関西電力(株)、大阪ガス(株)、

【自治体等】 経済産業省近畿経済産業局、大阪市、堺市、豊中市、大阪府、大阪府地球温暖化防止活動推進センター

(4) 概要

- ・大阪府から、地球温暖化・エネルギーに関する出前講座プログラムの素案と今後の出前講座の実施予定等について説明し、意見交換した。プログラムについては、大阪府地球温暖化防止活動推進センターが四條畷市・大東市エリアをフィールドに実施中のコンソーシアム事業と連携し、大阪産業大学の学生と一緒に作成・実践するとともに、府としてそれを府域に広く展開することを想定。
- ・大阪府から、今夏にリリースした「住宅用太陽光発電シミュレーションシステム」について説明し、意見交換した。
- ・大阪府から、国の電力システム改革の動向と、国が作成・公表したよくある質問・回答について説明し、今後の理解促進について意見交換した。
- ・関西電力から、「はぴeみる電」リニューアル内容の1つとして、家庭部門会議の中でも意見のあった「アラートメール機能」が付加されたことのお知らせがあった。

## (5) 会議での主な意見

### (地球温暖化・エネルギーに関する出前講座について)

- ・この場合はスマートエネルギー協議会なので電気のことが主になるが、地球温暖化という視点でいうとCO2を多く出す自動車のことなども加味しないと、温暖化対策＝節電ということになってしまう。
- ・このプログラムは、正式なカリキュラムの中に盛り込まれることになるのか、各市町村や学校の状況に合わせて使ってことになるのか。以前、環境家計簿を市内の小学校に展開しようとしたとき、なかなか進まず、夏休みに取り組んでいただく形にして、5～6年かけてようやく7割の学校でやっていただけたという苦労があった。  
⇒カリキュラムに盛り込むのが究極的には望ましいが、まずは各校の状況に応じて総合学習や社会の授業で対応いただき、その反応を見ていきたい。
- ・市の環境マネジメントシステムの構築にあたって、市立の学校・園を3年かけて回るという取組を手をあげてさせてもらっている。そのベースがあるのが大きく、行政と目的意識を共有できることが1つの基盤になる。
- ・プログラムができたなら、市町村や消費者団体などの前で、模擬授業をやらしてもらえたら、それを見た側が、それぞれの立場で、どのように活用できるかイメージしやすい。

### (住宅用太陽光発電シミュレーションシステム)

- ・既築住宅の屋根に太陽光のような重いものを載せることは住宅業界でも意見が分かれている。耐震性はバランスの問題もあり、どこか片一方に非常に重量がかかると、家のバランスが悪くなって耐震性が落ちるということもあるので、そのあたりもガイドしていただければより良い。
  - ・ファイルをダウンロードして使うより、ホームページ上でシミュレーションできると良いのではないかな。
- ⇒府としてもその方が良いと考えているが、府のWeb管理システム上、お金をかけなければできない制約があった。予算がかけられない状況下でまず自分たちで作ってやってみようということで作成した。今後、好評いただければそれが後押しになるので、このシステムを広めていきたい。

### (電力システム改革について)

- ・自由化になって価格を選ぶことができ、便利なものを選ぶことができるということはとてもうれしいが、選ぶための能力がないと振り回される。通信自由化のときも

非常に混乱した。

- 一般消費者に何がわからないかと聞いて一番なるほどと思ったのは、電気を他の事業者から買うということは、別の電線を引っ張ってくるのかと知っているといったこと。通信も同じだが、線を借りて送るというイメージがない。